並木中等story

令和３年11月５日号

○○ちゃんは私のもの？

小学生によくあることですが、誰かを自分の私物のように振る舞う人がいます。私の仲間あるいは子分として囲って、他のグループの人との交流をさせないようにするのです。これは一つの欲の表れです。もし、その囲ってしまった友達が離れようとすると、裏切り者としていじめの対象にします。このことは許されないことであることを皆さんなら分かりますね。まず、友達を囲うことそのものが人権侵害です。Ａさんが誰と遊ぼうが、それはＡさんの自由です。それを友達だからといって制限するのはおかしなことです。“何様のつもり”なのでしょう。

もし、誰かに囲われる立場で困っている人がいたら、すぐに先生に相談してください。
この事は、囲われる方だけでなく、囲う方にも良くないことなのです。囲う方の人はその人が抱えている問題を、友達を囲うということ通して誤魔化そう、軽減化しようとしていると考えられるからです。これでは解決にはなりません。人は一人の人格として尊重されなければならない、そして、良くないことには立ち向かわなければならないのです。

《祝！日本学生科学賞県審査で受賞》

日本学生科学賞県審査が行われ、本校４年の小栗さんの作品「エンドウの枝分かれのメカニズムを探る」が県議会議長賞を、同じく大久保さんの作品「ニホンヤモリの体色変化」が県教育長賞を受賞しました。おめでとうございます。